

令和2年度横浜みなとみらいホール指定管理業務評価表（外部評価）

	石田委員	伊藤委員	田中委員	丸山委員長	箕口委員
Ⅰ 経営	<p>【評価できる点】</p> <p>長期休館に際して、組織内の資源を生かす意識が感じられます。さらに、ホール周辺地域の資源に着目し、組織間連携に注力していることが評価できます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>地域住民勤務されている方々、および企業などへのアプローチを一層強化していただき、コンサートホールが地域に存在しているという以上の意識をステークホルダーの方々に高めていってもらえるように期待します。地元で優れた拠点があると認識されることが、みなとみらい21地区および都心部の創造の魅力づくりにつなげる政策的な目標にも寄与していけるのではないのでしょうか。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>新型コロナ感染の最中において、教育機関やオーケストラ団体等との連携など精一杯努力したこと、またリニューアル後に備えての事業企画。広報の体制強化を図った点は評価したい。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>今回のコロナ禍の経験も踏まえ、これまでの指定管理における運営上の課題の点検や、市との協議の強化を図ってほしい。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>新型コロナ感染症の影響の中、感染防止対策をとりつつの事業の展開・アーカイブ音楽公開を積極的に配信を行うなど広報活動に力をいれて経営していることがうかがわれます。これは、各専門に応じた適正な人員配置ができていることと、評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>長期休館中は これまでの事業を見直す良い機会だと思えます。長期休館が終わっても感染が終息しているか不明です。これを見据えた今までの以上の経営戦略をたてることも課題となります。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>不測の事態の中、オンラインでの対応等によって、大きな混乱もなく、経営が遂行された点を高く評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>今回のような不測の事態への対応のルールの確認、整備が必要であると思えます。 委員会での説明、質疑応答で、芸術文化、若手芸術家・演奏家の緊急支援策が多く取られたことを理解できましたが、一般の市民・観客にわかりやすく伝える工夫は、さらに必要であると思えます。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>大規模改修に向けてホールを一度閉じるということだけでも大きな課題であったところへ、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックという事態が降りかかったにも拘わらず、自治体経営のホールとして模範となる対応を実現しました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>大規模改修による閉館期間をパンデミック収束後を見据え、ポスト・コロナの公共ホールの規範となる経営基軸を策定するリードタイムとして活用してください。</p>
Ⅱ 事業	<p>【評価できる点】</p> <p>圧倒的な発信力をもって「横浜WEBステージ」を展開されたことが特にすぐれた取組として注目されました。WEBによる自主事業展開の可能性を広く示し、大いに話題になりました。コロナ禍において特筆すべき、誇れる成果だと考えます。日本全国の他館にとっても刺激につながったのではないのでしょうか。そのほかの事業についても「BEETHOVEN2020 ピリオド楽器オーケストラ第九演奏会」「横浜シネマパラダイス」など、興味深い企画が並びました。今後にも期待しております。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>市内広域での展開は令和3年度の取組となるため、未知数ですが期待したいと思います。子供たちに対する企画展開の強化も継続していただければと思います。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>コロナ禍の中の様々な努力、特にオンラインによる「横浜WEBステージ」や「無人オーケストラコンサート」等はホールの新しい試みであり、その他の企画も(アンケートが実施できた事業に関しての)顧客満足度の高さにも現れているものとして高く評価したい。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>オンラインによる「横浜WEBステージ」は本当に「新しい芸術フェスティバルの形」となるか、演奏者やオンライン視聴者の声を分析し、ぜひその可能性や課題についてまとめられたい。またこれを機会に、事業のアーカイブ化への取り組みを一層強化してほしい。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>感染症を見据えた事業を実施したこと、当初の目標より実績が上回る事業を展開したことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>長期休館中、アウトリーチ事業 障がい者施設等だけでなく、未来を担う子供たちに音楽を聴く機会を増やし、音楽の楽しさを教えてくださればと思います</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>中止を余儀なくされた事業の代わりとなるオンラインでの事業が実施されました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>オンライン事業を、今後も利用しうるフォーマット、プラットフォーム構築のための初期投資であれば許容できるかもしれないが。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>海外からの来日公演の中止等の逆境をむしろ奇貨として、閉館期間企画だった「横浜WEBステージ」を始動させた企画・制作の総合力に感服いたしました。欧米の主要コンサートホールに先駆けて「ホールを全世界に発信するスタジオにする」試みを行ったことは、特記に値するものです。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>「横浜WEBステージ」をコロナ禍のただ中の突破口として、またコロナ収束後の公共ホール像のひな形として、どのように活用していくかをぜひ検討してください。特設サイトの現状を見る限り、WEBステージのコンセプトと特性をアピールする方法や見せ方はまだまだ工夫できると考えます。</p>

令和2年度横浜みなとみらいホール指定管理業務評価表（外部評価）

	石田委員	伊藤委員	田中委員	丸山委員長	箕口委員
Ⅲ 施設運営	<p>【評価できる点】</p> <p>コロナ禍における取組の難しさの中で、会場の貸出実績が一定数確保されていました。PR 活動も積極的におこなわれています。キャンセル対応の迅速さの確保などにも努めていらっしゃる事がよくわかります。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>公共ホールにとって HP を整備し、SNS を強化して発信数を増やすことはいまや必須のことになっているかのようです。一方で、そうした活動を通じて何を指すのかについては組織内で共有していくことが必要な状況ではないでしょうか。何を発信するのか、発信したことをつうじて、ホールが何を指すのか、つまり何を広報するかによって、HP の作り方、SNS の使い方が変わってくると思います。加えて、とくに SNS に関しては職員の方の個人的な努力がベースともなるため、そのご負担も鑑み、組織としての適切な対応措置が望まれる部分でもあるでしょう。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>コロナ禍によるキャンセル枠の利用促進の努力は評価したい（が、もう少し具体的な努力一例例えば小ホールや音楽練習室の利用者向けなどについて知りたい）。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>コロナ感染の安定期（非常事態宣言解除期）や長期修繕のための休館期の活動広報や、（触れられてはいるが）リニューアル後のレセプション体制等のサービスの質の維持・向上に頑張ってもらいたい。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>コロナの影響で制限が設けられている中、違った形でのレセプションルームの活用、音楽業界等との蜜な情報の交換、貸館公演主催者の支援の結果、大ホールでの 1000 名を超える来場者を迎え演奏会が行われたこと評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>レセプションは、施設の重要な存在です。再館後もレセプションの質が変わることのないような体制作りをお願いいたします。又、休館の間の PR が再館するホールの魅力あるものであることを期待します。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>大規模改修中であり、特に意見はありません。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>大規模改修中であり、特に意見はありません。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>・広報発信力強化のために経験者を置いたことで、レガシーメディアも巻き込んだタイムリーな広報活動が展開できたとのこと。特に、第一波後のホール再開を広く報じることは、パンデミック下に希望の在処を示す社会的発信になりました。多くの人が日常が戻ってくる実感を持つきっかけのひとつになり得たのは、公立文化施設の重要な役割を果たしたことに繋がると思います。</p> <p>・改修閉館中は一度休止させているレセプション体制については、再開後のサービスの質維持に繋がるよう、丁寧なフォローアップを行っているとのこと。人事体制に細やかな Job description を作っているホールならでのことと感服いたしました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>特にありません。</p>
Ⅳ 施設維持管理	<p>【評価できる点】</p> <p>施設改修に向けてさまざまな措置が適切におこなわれていたとの自己評価結果となっています。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>横浜市との緊密な連携のもと、コロナ禍において最大限の改修効果があがるように望みます。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>コロナ禍中、事務所移転や定期メンテナンスなど大変だったでしょうが、特記することは特にありません。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>大規模修繕工事に対して、専門的な管理運者としての視点からの点検や工事業者への注文など対応してほしい。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>特にありません。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>特にありません。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>大規模改修中であり、特に意見はありません。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>大規模改修中であり、特に意見はありません。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>施設改修が、現今の情勢下にも円滑に始まったとのこと、これまでの堅実な維持管理があるからこのことと思います。今後ともどうぞご安全に。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>特にありません。</p>
収支	<p>【評価できる点】</p> <p>助成金・補助金の獲得に積極的に取り組んで成果を出されていることが大いに評価されます。機動力を発揮してコロナ禍の特別補助を獲得されたことに加えて、とくに劇場、音楽堂等機能強化推進事業での補助金獲得実績は大いに評価されるべきことかと思えます。今後の継続的な支援および支援拡大につなげていかれることを願っています。企業からの協賛獲得など、今後の地域の各組織との連携に期待をしたいと思います。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>特にありません。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>コロナ禍により利用料金収入が 6 割近く減ったが、市や国からの運営支援があったとはいえ、当初予算を達成した点は評価できる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>大規模修繕のための休館中は、コロナ感染による補償は期待できないこともあり、リニューアル後の活動のための準備費も含め、その間の経費の確保＝外部資金獲得に努力されたい。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>国からの助成金を獲得するために積極的に働きかけたこと評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>感染症の影響で、雑収入の企業協賛金・寄付金が激減しています。この状況の中で企業協賛金の獲得は大変難しい課題ではあるが、休館期間中に獲得のための策を考えていただきたい。</p> <p>打合せがコロナ禍で ZOOM 開催となり、経費が削減しました。今後も経費の削減ができる項目について検討していただきたい。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>オンライン事業の費用対効果について、収支資料閲覧の当初は疑問を持ちましたが、不測の事態下での芸術文化活動の支援・育成の側面等、評価委員会当日の指定管理者の説明により、疑問はほぼ解消されました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>オンライン事業の効率化について、今後も留意していただきたいと思えます。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>文化庁関連の補助金・助成金を始め、公的助成獲得を高く評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>企業協賛金の獲得に注力をと、行政評価にありますが、具体的な方策（サポートサークルの創設など）をたて、民間資金の先進的導入を期待します。</p>

令和2年度横浜みなとみらいホール指定管理業務評価表（外部評価）

	石田委員	伊藤委員	田中委員	丸山委員長	箕口委員
組織	<p>【評価できる点】 新井 新館長のもと、組織に新しい風が吹き込まれ、発信力が上がったと感じております。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 職員研修もすでに実施されておられます。ホール改修の機会に新たな発想のもと、一層取り組んでいかれることを願います。</p>	<p>【評価できる点】 専門性を活かした人員確保や配置など。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 (触れられているが)長期休館中の、普段はできないような研修に一層努力されたい(特に長期的な視点からのホールの運営改善やデジタル技術など)。</p>	<p>【評価できる点】 特にありません。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 経営強化のため、人材の育成 専門知識の取得に期待します。</p>	<p>【評価できる点】 結果的に、オンライン事業を促進するための人的、組織的整備が進捗しました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 オンライン上の芸術鑑賞に関する技術、聴衆の嗜好等の進歩、変化のスピードへの対応を進めてください。</p>	<p>【評価できる点】 特記すべきことはありません。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 特にありません。</p>
その他・留意事項	特にありません。	市との政策経営協議で取りあげたことについて、もう少し具体的内容を知りたい(例えばコロナ感染など非常事態における指定管理制度のフレキシブルな適用や、長期休館中の運営に関する課題などについて、どのような協議がなされたのか)	特にありません。	大規模改修中であり、特に意見はありません。	特にありません。
大規模改修に伴う休館期間中における業務	<p>【評価できる点】 ホール改修期間中にも取り組める事業をおこなっておられます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 この期間でなければ人員を割けないことにも取り組めるのではないかと考えます。とりわけホールを必要としない、ホール外でのアウトリーチ活動などは現在も積極的に取り組んでおられると拝察しますが、意識的に力を注いでいただけるように願います。</p>	<p>【評価できる点】 リニューアル後に向けての説明会や広報など、努力が見られる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 大規模改修中に利用・提携した市内の他の施設との関係づくり(リニューアル後への継続)、およびPLOT48や赤レンガ倉庫のリニューアル後の活用(例えば長期使用可能な練習場として、若手演奏家やその他の表現者の育成施設として活用できないか)</p>	<p>【評価できる点】 ホール以外での事業の展開を行っていること評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 3施設運営の期待する点でも書いたように、PRが再館するホールの魅力あるものであることを期待します。</p>	<p>【評価できる点】 特にありません。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 特にありません。</p>	<p>【評価できる点】 次年度以降本格化する、休館中事業(ホール外での活動)の企画展開を評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 特にありません。</p>

	石田委員	伊藤委員	田中委員	丸山委員長	箕口委員
総括	<p>令和2年度は突然襲ったコロナ禍、かつホールの大規模改修の時期と重なったことを逆手にとって積極的に活動されていたのではないのでしょうか。とりわけ、WEBでの発信は他館に先駆けていち早く大きな成果をあげておられました。同事業により、広く注目されたことが再生回数からも見て取れます。そうした取組が補助金、助成金、協賛金といった支援などの獲得にもつながると考えてよいでしょう。新館長のもと、こうした好循環が生まれているように感じられます。ホールの存在が横浜市の顔となるような成果を着実にあげられていると感じております。劇場の概念がインターネット活用によって広がった今日の社会において、新たな発想のもとで、横浜みなとみらいホールが日本の劇場、音楽堂等のリーダーシップをとる館になるように期待しています。</p>	<p>令和2年度は(それに続く令和3年度も)新型コロナウイルス感染問題や大規模改修に向けての準備と長期休館など、通常年とは大きく異なる運営が求められた年であったが、そうした状況の中で様々な努力と、「横浜 WEB ステージ」など新たな取組に関する工夫など、高く評価したい。この期間中に得られた経験(非常事態における運営上の課題やその解決のための対策など)を、今後のために記録に残し、またできなかったことについてはどういう施策が求められるか提言書など、ぜひまとめておいて欲しい。</p>	<p>長期休館・コロナ感染症と二重苦にみまわれているが、今までの事業の取組み方今後の事業のあり方を考えることができる絶好のチャンスと考え、リニューアル後のオープンにむけて取り組んでいただきたい。</p>	<p>不測の事態に見舞われた事業年度でしたが、今後も起こりうる様々な事業環境への対応の在り方を検討する機会であったと考えることもできるでしょう。その意味では、1つの社会実験であるという納得の仕方もあります。財団と市との関係、財団管理の施設間の関係等も、必要に応じて再確認が必要であると思います。</p>	<p>コロナ禍は年度の都合などお構いなしで、どのホールにとっても2020年は記憶に刻まれる年だったと思います。特にみなとみらいホールは大規模改修による一時閉館を目前に控えた突発事で、対応を含め大変なご苦労があったと察します。上にも書きましたが、そんな状況下で「閉館中企画」として準備していた「横浜 WEB ステージ」を前倒しして実現させた柔軟さと企画制作力は、みなとみらいホール20余年の底力であったと誇らしく思います。こうした取組を一時的な対応に終わらせず、ポスト・コロナ時代の全く新しいパースペクティブを拓く意味でも、一時閉館の「お籠もり」の間に、頭ひとつ抜け出したコンテンツに育て、コンサートホールの新たな展開としての規範を示してください。</p>

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:☆ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)については:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
1 経営 (1)政策目標(経営) 施設が持つ機能を最大限に活かし、総合力ある経営を行う	横浜市の文化政策を実現化するため、専門人材の充実と適切な配置による組織体制の強化に努める。 またホールが持つ機能を最大限発揮し、音楽文化を通じて都市活性化に寄与することで地域社会への貢献度を高める。	組織内連携と経営強化 ■専門性が発揮できる体制づくり	実施	実施	■各専門性に応じた適切な人員配置により組織体制を強化しました。 ■広報発信力強化のために経験者を配置しました。 ■事業企画部門の責任者を2.5名体制とすることでマネジメント力、プロデュース力を強化しました。 ■コロナ禍で感染防止対策の取組を利用者に発信することで安全な利用を促進しました。	【成果】 大規模改修のための長期休館に入る年度ということで、長期休館中の展開、そしてリニューアル後にもつなげられるよう積極的に事業を実施していくため、事業企画部門や広報部門の体制を強化しました。 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言により4月8日から5月31日まで臨時休館となり、6月1日以降も国や横浜市からのガイドラインによる入場定員制限が続きましたが、感染防止対策も整えながら、財団他施設や神奈川フィル等との連携事業も目標通りの取組み行うことができました。  【課題】 令和3年度は長期休館となるため、持続可能なホール運営を実現するために必要な仕組み・ルールを改訂するとともに、よりいっそう他施設や他団体との連携を図ることにより、横浜みなとみらいホールのプレゼンスを維持・向上させる必要があります。	【評価できる点】 開館以来初めての大規模改修による長期休館となる時に、新型コロナウイルス感染症の影響が重なり、突発的な対応や判断等が必要となった1年でしたが、安全に運営できたことを高く評価します。  【更なる取組を期待する点】 長期休館中、これまでの指定期間中の運営方法を見直すことができると考えます。各種検討を進めていただき、横浜市と共有、調整を行ってください。 これまで築いてきたみなとみらいエリアにおける関係性の他、事務所移転をすることにより生まれるであろう、新しい関係者との連携による取組に期待します。	
		■収入向上につながる事業開発着手	実施	実施				
		財団全体での総合力発揮 □財団所管他施設との連携事業実施 (横浜美術館、大佛次郎記念館)	2プロジェクト	3事業	B			□12/12 みなとみらいSuper Big Band演奏(吉野町市民プラザ) □1/26 きこえる色、みえる音(横浜赤レンガ倉庫1号館との連携) □3/22 大佛次郎記念館サロンコンサート
		社会的協働・連携による取組 教育機関・地元オーケストラ団体との協働・連携に取組み、音楽文化を通じた地域社会への貢献度を高めます。 □教育機関との協働・連携企画	2件	4件 東京藝大COI拠点 盲特別支援学校 学校プログラム オルガン科事業	A			□教育機関との協働・連携企画 ・オルガン科事業 受入れ1校(コロナウイルス感染症により減) ・「学校プログラム」「横浜WEBステージ アウトリーチ」での実施校4校との連携 ・「盲特別支援学校オルガンワークショップ」での盲特別支援学校との連携 ・「だれでもピアノ」「音と光の動物園」「きこえる色、みえる音」での東京藝術大学COI拠点との共催・連携での実施
□オーケストラ団体との協働・連携企画 (神奈川フィル)	2件	4件(2団体) ①神奈川フィル 共同音楽講座(2) 連携公演(1) ②ハマのJACK(1)	B	□オーケストラ団体との協働・連携企画(4件2団体2件) ・神奈川フィルとの共同音楽講座(2回) ・神奈川フィルとの連携公演(1回) ・ハマのJACKとの連携(金の卵、夏休み事業)				
(2)政策目標(経営) みなとみらいV1地区及び都心部の活性化及び都市の魅力づくりに寄与する	周辺の商業施設、専門文化施設間の連携を一層強化し、来館者や来街者が「ホールのある街」を実感できるよう努める。	「ホールのある街」「音楽のある街」戦略 □在勤在住者への情報配信と交流事業 (かもめスクール)の実施	情報配信:月1回 交流事業:年2回	情報配信:通年 交流事業:年3事業	□在勤在住者への情報配信と交流事業の実施 ・夕涼みオルガンコンサート(1回) ・地域住民も利用する駅や商業施設に事業広告を実施してホールをアピール(毎月) ・交流イベントJAZZ Bar at MMホールを開催(1回) ・MMcc世話人会に参加して情報交換(2回)(コロナウイルス感染症対策による減)	【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の賑わいづくりという展開が困難である中でも、地域の方々ターゲットとした「夕涼みオルガンコンサート」や商業施設での「バーチャル・イベント」など、可能な範囲で「ホールのある街」をアピールすることができました。  【課題】 令和3年度は長期休館中となりますが、街との連携について関係性を維持し、リニューアル後につなげることが必要です。		
		街との連携 □商業施設連携事業実施	年3回	年3回	B		□街との連携 ・クイーンズスクエア X'masツリー連携(1回) (パイプオルガン録音) ・12/24・25クイーンズスクエア バーチャル・イベント実施	
		MICE利用の誘致 □アフターコンベンション利用のコンテンツ開発と実施:年2件 □イベント(JazzBar)開催:2回	年4回	MICE利用なし 年2回実施	—		□MICE利用実績無し コロナウイルス感染症対策により、フランス映画祭オープニングは中止 □MICE利用PRイベント(JAZZ Bar、夕涼みオルガン 合計2回)	
		文化施設連携事業の展開 □他の文化施設との連携事業 (市民ギャラリー、市民ギャラリーあざみ野)	年2回	年3回	B		□他の文化施設との連携事業を実施:年3回 (再掲)	

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:★ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
<b>2 事業</b> (1)政策目標(事業) 市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し、音楽文化を支える裾野を広げる	クラシック音楽のファン層に向けたオーケストラ演奏や室内楽演奏会の開催。  (ア)オーケストラ事業 ●ピリオド楽器で演奏される第九公演 ●映画音楽で綴るヨコハマの街「横浜シネマパラダイス」 ●ジルヴェスターコンサート 2020-2021  (イ)室内楽事業 ●硬派弦楽アンサンブル石田組 ●横浜みなとみらいホール パースディコンサート ●ピアノソロによる第九公演  (ウ)多様な音楽ジャンルの事業 ●こどもの日コンサート ●デーモン閣下の邦楽維新Collaboration  (エ)低料金・無料コンサート(鑑賞者の育成・開拓のための入門用事業) ●オルガン1ドルコンサート(クリスマス含む)  ●みなとみらいクラシック・マチネ  ●心の教育ふれあいコンサート ●みなとみらい遊音地	(ア)オーケストラ事業 ●ピリオド楽器で演奏される第九公演 ●映画音楽で綴るヨコハマの街「横浜シネマパラダイス」 ●ジルヴェスターコンサート 2020-2021	実施	実施	□顧客満足度 92.3% □合計入場者数 2,133人(動画視聴数除く) ●11/10 ピリオド楽器オーケストラ第九演奏会 92.8% 763人 ※動画配信視聴数 65 ●10/9 横浜シネマパラダイス 91.8% 571人 ●12/31 ジルヴェスターコンサート2020 92.2% 799人 ※ライブ配信視聴数 108	【成果】 オーケストラ事業では、ベートーヴェンが活躍していた時代の音を再現した「BEETHOVEN2020 ピリオド楽器オーケストラ第九演奏会」、横浜の風景や映画館の歴史を振り返る映像とともに映画音楽を楽しむ「映画音楽で綴る、ヨコハマの街『横浜シネマパラダイス』」、横浜ゆかりの演奏家で構成された特別オーケストラ演奏で施設休館前最後の公演となった「ジルヴェスターコンサート」など、様々な視点で事業を展開し、単なるクラシック音楽の枠にとどまらない演奏会を提供することができました。  室内楽事業では、実力とともに高い人気を誇る「石田組」、ピアノのみで第九を演奏する「ピアノ第九演奏会」など、ニーズの高いアーティストや日本を代表するピアニストの演奏会で、クラシック音楽ファンにも満足いただける内容となりました。  低料金コンサートなども含め、全体的に、新型コロナウイルス感染症拡大防止策で定員の50%設定での実施公演が多く、入場者数は目標に達していませんが、日程変更、内容変更など様々な対応を経ながら、「こどもの日コンサート」以外の事業は実施できたことで、リニューアルオープンまでの横浜みなとみらいホールへの期待感につなげることができました。  【課題】 令和3年度は、ホールという拠点がなく、市内の文化施設等で演奏会を行うこととなります。これまでの企画を基に、横浜みなとみらいホールの取組みを全市的に広め、リニューアル後の集客にもつなげていきますが、各地域のニーズにも見合ったものにするために、各区や区民文化センター等と連携をはかります。	多様な音楽ジャンルの公演や音楽人口の拡大を目的に音楽文化への間口を広げた公演の開催。 上記により様々なニーズに対応した音楽事業を実施し、市民が音楽文化に親しむことの出来る多くの機会を提供する。	【評価できる点】 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を実施する際の運営方法について、最新の状況を常に踏まえた柔軟な対応を求められました。 来場者の方に感染対策のご協力をいただいたり、海外の演奏家の出演調整、公演自体のやり方、チケットの販売の仕方等、現場において様々な工夫をしながら、安全に運営を行ってきた点を高く評価します。 当初は、令和3年度の長期休館中の取組を予定していたオンラインによる発信等も、新型コロナウイルスの影響下の取組として「横浜WEBステージ」を急遽実施しました。通常のホール公演では見ることのできない視点からの様々な映像の配信は、ホールならではのコンテンツとして配信され、注目を集めました。 また、この状況において、形を変えながらも、ほぼすべての事業を実施することができた点は、特に意義のあることと考えます。次世代育成事業についても、各種対策を講じていただき、実施できたことを評価します。  【更なる取組を期待する点】 長期休館により、ホール以外の場所で事業を展開していくことで、これまで関係性がなかった方とも出会う機会が生まれます。横浜みなとみらいホールとの関わりを作り、音楽のファン、さらには横浜みなとみらいホールのファンを増やすためのきっかけづくりになると考えます。 これまでご利用、ご来場いただいていた方との関係性の継続も大切にし、リニューアルオープン後に、またホールにお越しいただくきっかけを作るためにも、様々な場所でPRをしてください。 また、公共ホールとして、あらゆる方が音楽に触れられる機会を提供し続ける重要な役割を担っていることから、これまでどおり感染対策等に十分に注意しながら事業を続けていただくことを大いに期待しています。
		□顧客満足度	80%	92.30%	A			
		□合計入場者数	4,500人	2,133人	—			
		(イ)室内楽事業 ●硬派弦楽アンサンブル石田組 ●横浜みなとみらいホール パースディコンサート ●ピアノソロによる第九公演	実施	実施	□顧客満足度 -% *新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環でアンケート実施せず □合計入場者数 1,338人 ●10/3 Urban String Unit「石田組」 931人 ※アンケート未実施 ●9/6 みなとみらいクラシック・マチネ特別公演 工藤重典フルートアンサンブル 169人 *5/31から延期および内容変更 ※アンケート未実施 ●10/5 ピアノ第九演奏会 238人 ※アンケート未実施			
		□顧客満足度	80%	-	—			
		□合計入場者数	3,000人	1,338人	—			
		(ウ)多様な音楽ジャンルの事業 ●こどもの日コンサート ●デーモン閣下の邦楽維新Collaboration	実施	実施:1 中止:1	□顧客満足度 -% □合計入場者数 627人 ●5/5 こどもの日コンサート 中止 ●9/4 デーモン閣下の邦楽維新Collaboration 627人 ※アンケート未実施			
		□顧客満足度	80%	-	—			
		□合計入場者数	3,500人	627人	—			
		(エ)低料金・無料コンサート(鑑賞者の育成・開拓のための入門用事業) ●オルガン1ドルコンサート(クリスマス含む)	実施	1ドル:8公演 クリスマス:1公演	□顧客満足度 92.7% □合計入場者数 25,980人 ●オルガン1ドルコンサート 8公演(クリスマス562人含む) 93.0% 3,785人 ※アンケートはクリスマス・オルガンのみ実施 ●みなとみらいクラシック・マチネ 11公演 92.4% 3,136人 ※アンケートは11/12公演のみ実施 ●9-10月 心の教育ふれあいコンサート 20公演 -% 16,112人 ※一般・保護者入場なし ●8/6-9 みなとみらい遊音地 -% 2,947人(オルガン・1ドル スペシャル452人含む)			
□顧客満足度	80%	92.7	A					
□合計入場者数	45,000人	25,980人	—					

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:☆ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価	
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
(2)政策目標(事業) 新たな音楽文化を提案する、優れた創造・創作の拠点となります。	施設の優れた音響特性や機能を生かし、常に専門館としての高い企画性を発揮した独自の事業を創造・発信する	ア 独自性の高い事業 (ア)ホールオリジナルの室内楽公演 ●硬派弦楽アンサンブル石田組	再掲	-	●10/3 Urban String Unit「石田組」 □顧客満足度 -% ※アンケート未実施 □入場者数 931人	【成果】 「Just Composed 2020 Winter in Yokohama」では、これからの活躍がますます期待されるアーティストや作曲家を起用し事前レクチャーも実施しながら、今創造される音楽への間口を広げ、設定席数は完売となりました。  「横浜市招待国際ピアノ」は、海外からの渡航制限により、当初予定のピアニストの出演が叶わず、近年の出演者の中から4名を選定した特別公演となりましたが、同公演を経て中堅として活躍しているピアニストたちの今の演奏を紹介することができ、新たな成果ともなりました。  年度開始後に新たに取組を開始した「横浜WEBステージ」は、WEB上でのフェスティバルということで、公演を見るお客様も演奏者も感染症対策のため制限があり、コロナウイルス前と同じように公演を行うことが難しい中、最新技術を駆使した動画とアーティストの演奏を、誰もが好きな時間に好きな場所で、また通常のコンサートでは見ることができない映像を楽しむ、新しい芸術フェスティバルの形を提案する事業となりました。リアルイベントとしても、収録した音源を使用した69台ものスピーカーによるオーケストラ「無人オーケストラコンサート」を実施し、今までにない新たな企画となりました。  【課題】 令和3年度は全市的な展開を行っていきますが、その展開をリニューアル後のホールへの集客につなげていくことを見据え事業を企画・実施していきます。	
		□顧客満足度	80%	-			
		□総入場者数	1,400人	931人			
		(イ)現代作曲家シリーズの開催 ●若手作曲家を起用した「Just Composed2020 winter」	実施	実施	●12/13 Just Composed 2020 Winter in Yokohama □入場者数 231人(うち関連レクチャー31人)		
		□入場者数	200人	231人	A		
		(ウ)「オルガン・シリーズ」の開催 ●オルガン・1ドルコンサート	再掲	B	□入場者数 5,121人 ●オルガン・1ドルコンサート 3,223人 ●11/18 三浦はつみオルガン・リサイタル 707人 ●9/24-11/26 パイプオルガンと横浜の街 661人 ●12/22 クリスマス パイプオルガン・コンサート 562人		
		●パイプオルガンと横浜～ORGAN COLLECTION	実施	実施			
		□入場者数	10,000人	5,121人			
		イ 横浜芸術アクション事業(横浜音祭り) ※事業の再掲あり ●金の卵見つけました ●こどもの日コンサート ●心の教育ふれあいコンサート ●七感で楽しむシアター ●第39回横浜市招待国際ピアノ演奏会 ●Just Composed 2020 winter in Yokohama ●音と光の動物園			□顧客満足度 91.9% □合計入場者数 23,207人 ●8/9「金の卵見つけました。」スペシャルコンサート -% 245人 ※例年通りのオーディションを実施できず、過去参加者によるスペシャルコンサートに変更 ●5/5 こどもの日コンサート 中止 ●9月-10月 心の教育ふれあいコンサート -% 16,112人 ●1/26 きこえる色、みえる音 -% -人 *無観客ライブ配信のみ 視聴数178 ●11/7 横浜市招待国際ピアノ演奏会 特別公演 93.2% 322人(うち関連レクチャー42人) ●12/13 Just Composed 2020 Winter in Yokohama 88.7% 231人(うち関連レクチャー30人) ●10/25 音と光の動物園 -% 26人 ●9/24-11/26 パイプオルガンと横浜の街 94.0% 2,753人(三浦はつみオルガン・リサイタル、期間中の1ドルコンサート等を含む) ●10/9 横浜シネマパラダイス 91.8% 571人 ●8/6-9 みなとみらい遊音地 -% 2,947人(金の卵245人を含む)		
		□顧客満足度	80%	91.4	A		
□合計入場者数	35,410人	23,207人					



令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:☆ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
	鑑賞以外でも芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成に取組む。	イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成 音楽大学・NPO・企業との連携事業 □提携事業数	5事業	6事業	<input type="checkbox"/> 提携事業 6事業 ・「金の卵見つけました。」スペシャルコンサート (共催:特定非営利活動法人ハマのJACK) ・おやこオペラコンサート (協力:NPO法人横浜シテオペラ) ・だれでもピアノ (協力:東京藝術大学COI拠点) ・発達障害がい支援ワークショップ IN 横浜「音と光の動物園」 (共催:東京藝術大学COI拠点、公益財団法人ベネッセこども基金、特定非営利活動法人ADDS) ・次世代育成インクルージョン・コンサート「きこえる色、みえる音」(共催:東京藝術大学COI拠点) ・庄司紗矢香 & ヴィンキング・オラフソン デュオ・リサイタル (共催:有限会社神奈川芸術協会)  *公演中止(新型コロナウイルス感染症の影響) 国際シニア合唱祭(共催:NPO法人ゴールデンウェーブ)、ヤングアメリカンズ・ジャパンツアー (共催:NPO法人じぶん未来クラブ)、内田光子 with マーラー・チェンバー・オーケストラ/トレヴァー・ピノック指揮ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団/ミコラ・ジャジュラ指揮ウクライナ国立歌劇場管弦楽団「第九」(以上共催:有限会社神奈川芸術協会)			
(4)政策目標(事業) 未来を担う子どもたちに音楽を知り、学び、体験することができる機会を設ける	子ども対象の音楽による創造活動の体験の機会を施設内外で提供する。また、障がいのある子どもや介助を必要とする子どもなどへの取組を行う。	(ア)夏の時期の家族向けフェスティバルの実施 ●みなとみらい遊音地 □開催日数	4日間	4日間	<input type="checkbox"/> みなとみらい遊音地 8/6-9 4日間開催 <input type="checkbox"/> 顧客満足度 -% *新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環でアンケート実施せず <input type="checkbox"/> 入場者数 2,947人	【成果】 「みなとみらい遊音地」では、直前まで開催有無を検討しましたが、少しでも子どもたちに芸術体験していただく場をつくるためにも、十分な感染症対策を講じた上で実施し、オープンデーでは、昨年とほぼ同程度の入場・参加者数となりました。  「心の教育ふれあいコンサート」では、学校数を通常の半数とし、保護者・一般入場なしで、座席間隔を空け、予定していた20公演を実施、「ファミリー・オルガン・コンサート」では、来場いただけなかった子どもたちも家で楽しめるよう収録を行い、ホームページでアーカイブ配信を実施するなど、様々な対応で子どもたちが音楽に触れる機会を提供しました。  「音と光の動物園」「盲特別支援学校オルガン体験ワークショップ」においても、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、内容としては予定通り実施し、それぞれ子どもたちの興味を引き出すことができました。  【課題】 障がいのある子ども向け対象のほか、障がいの有無に関係なくすべての子どもたちの可能性を引き出すプログラムを様々な視点で展開していくことは今後も必要と考えます。		
		□顧客満足度	80%	-	-			
		□入場者数	3,000人	2,947人	B			
		(イ)こどもを対象とした鑑賞事業の開催 ●心の教育ふれあいコンサート ●0歳からのオルガンコンサート ●こどもの日コンサート □入場者数	実施	実施	<input type="checkbox"/> 入場者数 16,272人 ●9-10月 心の教育ふれあいコンサート 16,112人 *新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環で、学校半数で実施 ●8/6 ファミリー・オルガン・コンサート 160人 *新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、4歳以上対象1公演実施 ●5/5 こどもの日コンサート 中止			-
(ウ)障がいのある子ども向け事業 ●盲特別支援学校との提携事業 □開催数	年2回	年2回	<input type="checkbox"/> 年間2回開催 ●11/16 盲特別支援学校との提携事業(中学部) ●10/25 発達障害がい支援ワークショップ IN 横浜「音と光の動物園」	B				

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:☆ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価	
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
(5)政策目標(事業) 音楽文化の持つ可能性、文化芸術の持つ社会的な力を活かし、地域社会に貢献する	地域コミュニティに活力をもたらす事業や、街の賑わい創りに貢献する事業、ホールへの来訪が難しい方々に音楽の魅力を直接伝える事業など多様なアウトリーチ事業の実施により、社会貢献する。	(ア)小学校におけるアウトリーチ事業 □学校数	3校	4校実施 1校中止	<input type="checkbox"/> 「学校プログラム」4校で実施 * 横浜市芸術文化教育プラットフォーム「学校プログラム」 12/10 みたけ台小学校(サクソ、ピアノ鑑賞) 1/6-8 川上北小学校(箏体験・鑑賞) 3/23 新吉田第二小学校(箏体験・鑑賞) ※3/8開催予定の都岡小学校でのプログラムは中止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため) *「横浜WEBステージ」学校アウトリーチ 3/1・2 みなとみらい本町小学校(VR体験)	<b>【成果】</b> 「学校プログラム」は、新型コロナウイルスの影響で日程変更も続く中、3校実施(1校中止)しました。アーティストのサクソと子どもたちのリコーダーの共演や、箏の体験後の発表会で子どもたち同士の演奏を聴き合うなど、貴重な芸術体験の場となりました。また、「横浜WEBステージ」でも学校へのアウトリーチプログラムを実施。実際演奏した指揮者のお話も交え、タブレットでバーチャル体験をし、今後学校でのVRプログラムの提案にもなりました。  「横浜WEBステージ」では、クイーンズスクエア横浜でのイベントも実施し、バーチャル体験をする場を提供することで、さらにWEBサイトにも興味を持っていただくよう促しました。  レクチャーコンサート等では、「横浜市招待国際ピアノ演奏会」「Just Composed」「ピリオド第九演奏会」「パイプオルガンと横浜の街」などと連携・関連した内容で、各公演への来場にもつながるものとなりました。  <b>【課題】</b> 令和3年度は長期休館中のため、すべてがアウトリーチとなりますので、学校等へのアウトリーチ事業を充実させていければと考えます。またみなとみらい地区との連携も継続し、休館中であっても横浜みなとみらいホールの存在をアピールしておくことも重要です。	
		(イ)市内の商業施設等でのアウトリーチ事業 クイーンズスクエア横浜で賑わい創り(クイーンモールミュージシャン、みなとみらいSuperBigBand) □開催数	年2回以上	1回 (2日間、4イベント)	<input type="checkbox"/> 年間1回開催(2日間) 12/24・25「横浜WEBステージ」クイーンズスクエアバーチャル・イベント ・スフィア5.2による指揮者体験 ・タブレット等によるVR体験 ・バーチャル・アンサンブル(生演奏とモニターのコラボレーション演奏) ・みなとみらい Super Big Band 演奏		
		(ウ)レクチャーコンサート □開催数	2回	6回 (4事業)	<input type="checkbox"/> 総入場者数 166人 <input type="checkbox"/> 試聴ラウンジ 3回開催(9/13, 9/26, 10/18) <input type="checkbox"/> その他レクチャー等 3回開催 ・10/17 パイプオルガンと横浜の街 トークイベント「パイプオルガンと世界の街歩き」 講師:小島弥生(オルガニスト) ・11/7「横浜市招待国際ピアノ演奏会」特別レクチャー 講師:武藤英明(指揮者)、宗次徳二(カレーハウスCoCo壱番屋創業者、宗次ホール代表) ・12/12 Just Composed 関連レクチャー 講師:稲森安太己(作曲家)、山根一仁(ヴァイオリン)、白石美雪(音楽学者)		
		□総入場者数	150人	166人	A		
(6)政策目標(事業) ホールにおいて蓄積された音楽に関する情報やネットワーク、ノウハウを活かし、市民の音楽活動を支援する	主催事業の記録化、横浜みなとみらいホール公演情報の整理。	ア 公演情報の記録・整理と発信 □主催公演等の記録のインターネットでの公開 ●主催公演等のレポートをホームページで公開	2件	2件	<input type="checkbox"/> 前年度のオルガン・インターンシップ生2名による各修了記念演奏会(9/24、10/31)後のレポートをブログで公開 2件 * 修了演奏会は、5月~6月にかけて実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で日程変更。	<b>【成果】</b> 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ホールにお越しいただけなくても横浜みなとみらいホールでのコンサートに触れていただけるよう、これまでの演奏会の音源や映像を活用し、「とっておきアーカイブシリーズ」や、「オルガン・1ドルコンサートat Home」を開始しました。  <b>【課題】</b> 今後、動画配信に限らず、事業のアーカイブ化は重要な取り組みの一つと考えており、引き続きアーカイブの整理と発信手法の検討を進めます。また、学生インターンの受入れは、単なる体験に終わらない、受け入れる学校や学生ごとに体系的なプログラムを構築することが必要です。	
		●とっておきアーカイブシリーズ ※期中に追加した事業	—	7件	<input type="checkbox"/> ホームページ上にて、「とっておきアーカイブシリーズ」を開始し、過去コンサートの音源・映像配信 7件 ・2019年6月開催「ハチャトゥリアン・コンチェルト」より ・2019年9月開催「シヨパン〜永遠の貴公子をたどる」より 2回 ・2020年8月開催「ファミリー・オルガン・コンサート」全編 ・2019年10月開催「村治香織の世界」より ・2020年7月開催「華麗なるコンチェルトシリーズ第15回」(主催:有限会社神奈川芸術協会) ・2020年7月開催「石田組 特別公演」(主催:有限会社神奈川芸術協会) <input type="checkbox"/> 「オルガン・1ドルコンサートat Home」と題し、外出自粛の中でもどこからでも、オルガン・1ドルコンサートを楽しめる動画を配信 5件		
		●オルガン・1ドルコンサートat Home ※期中に追加した事業	—	5件	<input type="checkbox"/> 「オルガン・1ドルコンサートat Home」と題し、外出自粛の中でもどこからでも、オルガン・1ドルコンサートを楽しめる動画を配信 5件		
音楽情報や国内外の芸術家や機関とのネットワークを活用し、市民の音楽活動へのコーディネーター機能の発揮。	イ コーディネーター機能 □音楽大学学生のインターン受入数	受入数:1件	実施なし	<input type="checkbox"/> インターン受入れなし * 新型コロナウイルス感染症の影響による			

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:☆ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
3 施設運営 (1)政策目標(運営) 利用者のニーズや利便性に考慮し、柔軟に対応することにより、施設の機能を最大限に発揮する	市民の創作活動・発表の場として広く認知されるように取り組む。	●地元オーケストラ団体との連携によるレセプションルーム活用事業 □連携事業数	年1回	年1回	B	□連携事業 ・「試聴ラウンジ」における神奈川フィルとの連携事業 1回 □レセプションルームPR ・2021年1月から休館のため抽選申込受付は終了。コロナ禍の出演者スタッフのソーシャルディスタンス確保のための控室利用をご案内しました。	【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響で、楽屋やリハーサル室の定員を制限したため、レセプションルームも控室として、活用することができました。  また、クラシック音楽業界の団体や首都圏の他コンサートホールと連絡を取り合い感染症対策の最新情報を積極的に入手し活用するとともに、ガイドラインで求められている諸条件について貸館公演主催者に随時共有をはかり公演開催に向けて支援に努めました。このような対策を講じたうえで6月の再開館時には上限100名だった入場者の定員も、9月半ばからは100%まで入場定員の緩和が行われる状況となり、大ホールでは1000名を超える来場者が国内オーケストラの定期演奏会、年末恒例の第九演奏会を万雷の拍手で迎えました。  【課題】 レセプションニストは直接雇用しており、長期休館を機に契約を終了したため、リニューアル後のサービスの質を保ち、持続可能なホール運営を実現するために、レセプションニスト体制の再構築が課題となります。  【更なる取組を期待する点】 横浜みなとみらいホールのレセプションニストのおもてなしは、これまで、お客様から好印象を得てきました。リニューアル後にも、みなとみらいホールの良さとして維持していくことを大いに期待しています。 「横浜WEBステージ」の実施により、WEBにおいてPRに活用できるコンテンツも増えたことから、効果的な活用を期待しています。 ホールそのものや事業一つ一つをより魅力的に見せられる広報手法は何か、また、どのターゲット層に届けようとするのか、様々な選択肢が想定されます。広報手法は変化が激しいものでもあるため、新しい成功した事例も大切にしつつ、より一層、効果的な手法は何か、追及、研究をしていただきたいと思います。	
		●レセプションルームの利用PR □レセプションルームPR回数	通年	通年実施	-			
		●企業等のコンベンションや顧客向けコンサートを誘致し、新たにコンサートホールに足を運ぶ層を獲得。 □開催数	年3回	年3回	B	□顧客向けコンサート:3件実施 ■フランス映画祭オープニング(6月)は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。		
		■利用希望の方と丁寧な打ち合わせを行い、利用者の拡大をはかるとともに、来場するお客様層も広がります。	実施	実施	-	□適切に実施しました。		
	音楽を楽しむ層の拡大に取り組む	●企業等のコンベンションや顧客向けコンサートを誘致し、新たにコンサートホールに足を運ぶ層を獲得。 □開催数	年3回	年3回	B	□顧客向けコンサート:3件実施 ■フランス映画祭オープニング(6月)は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。		
	クラシック音楽にとどまらず、ジャズやポップスなど、多様なジャンルの音楽利用を柔軟に受け入れ、幅広い客層がホールへ足を運ぶ機会をつくります。 質の高いサービスを安定的に提供する。	●レセプションニスト研修 □全体研修	年1回	随時 新採用なし	B	■感染症拡大のため、スタッフ全員参加による避難訓練の実施を見送り、マネージャー対象の消防・防災訓練を実施しました(9/28)		
		□避難訓練	年1回	年1回	B			
	(2)政策目標(運営) 日本を代表するとともに、市民に身近で愛されるコンサートホールとしてのサービスとホスピタリティを提供する	音楽専門ホールとしての特性を前提としつつ利用促進に取り組む。	●近隣企業への利用促進活動を実施 □近隣企業の顧客向けコンサート開催数	再掲	3件	B		□顧客向けコンサート:3件実施 ・商工会議所:10/6 ・自動車会社主催:12/10、12/14
		□利用率 ・大ホール	97%	64%	-	※新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、4/8~5/31まで全館臨時休館、大小ホールの利用キャンセル、練習室等の休室の影響を含む。		
		・小ホール	97%	55%	-			
	・リハーサル室	70%	34%	-				
	・レセプションルーム	40%	23%	-				
	・音楽練習室	83%	34%	-				
	利用者のニーズ、満足度等を把握し分析を行い、事業の企画や運営の改善をする。	満足度の高い運営 □レセプションニスト・マネージャーミーティング 開催数	年9回	ミーティング8回	B	□年8回(4月は臨時休館のため開催無し) ■マネージャーミーティングの場を有効に活用し、業務対応確認等を行い、より質の高いサービスの提供につなげました。 ■感染症対策に係る消毒液補充・各種サイン設置・サーマルカメラ確認業務についてはマネージャーがメインで担いました。		
	利用下見だけでなく、利用を検討される方のための下見にも柔軟に対応	□利用下見実施数	年70件	年23件	-	・利用下見:13件 ・視察・施設見学・撮影下見等:10件		
	ホールの発信性を高め、音楽文化の振興に寄与する商品をショップ等で販売	□オリジナル商品をイベント時にノベルティとして活用	通年実施	実施	-	□適切に実施しました。		
		□横浜をアピールする物販イベント実施数	6回	3回	-	□横浜をPRする物販イベント実施 ・「オルガン・1ドルコンサートatHome」(動画配信)として横浜の楽しいこと美味しいものを紹介(3回)		
	チケット販売だけでなくホールチケットセンター	■丁寧で正確な対応	実施	実施	-	■急な公演中止や払い戻し対応なども含め、業務の基準に従い適切に実施しました ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、公演中止・延期等が数多くあり、それに伴う問合せ・払い戻し対応についても、丁寧に対応しました。		

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:★ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価	
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
	【ドリンクコーナー】主催者の求めに応じ公演開催時に飲料等の飲食サービスを提供できる体制を提供	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基準に従い適切に実施 <input type="checkbox"/> 横浜ベイホテル東急との意見交換開催数	実施	実施	- B	<input type="checkbox"/> 安全性の確保、よりよい顧客サービス提供のため、横浜ベイホテル東急との意見交換 随時実施 (感染症対策に係る確認など中心に実施)	
	託児サービスの提供	<input type="checkbox"/> HP等を活用した託児サービスの周知回数	通年実施	実施	-	<input checked="" type="checkbox"/> HPやコンサートカレンダー、各公演チラシにも託児情報を掲載し、サービスの周知をはかりました。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症の影響により利用は15件(17名)にとどまりました。	
(3)政策目標(広報・宣伝事業) プロモーションの充実	【プロモーションの効率的・戦略的取り組み】 適切な商圏・対象層の設定、媒体の選択を行い、効率的・戦略的プロモーションに取り組む。  【WEBを活用したプロモーション】 WEBツールを活用し、施設案内や公演情報だけでなく利用者が必要とする様々な情報を、見やすく使いやすい形で提供する。	効率的・戦略的プロモーション <input checked="" type="checkbox"/> 首都圏への情報発信 <input type="checkbox"/> 交通広告等の出稿 回数  <input checked="" type="checkbox"/> 各媒体との関係強化・情報発信力アップ <input type="checkbox"/> 各媒体への情報掲載数  <input checked="" type="checkbox"/> 公開リハーサル実施 <input type="checkbox"/> 実施回数  <input checked="" type="checkbox"/> コンサートカレンダーの発行 <input type="checkbox"/> コンサートカレンダー発行数  <input checked="" type="checkbox"/> ホームページでの情報発信 <input type="checkbox"/> トップページアクセス数 <input checked="" type="checkbox"/> メールマガジンでの情報発信 <input type="checkbox"/> メールマガジン配信数  <input type="checkbox"/> メールマガジン登録者数  <input checked="" type="checkbox"/> ツイッターでの情報発信 <input type="checkbox"/> ツイッターでの発信  <input type="checkbox"/> ツイッターフォロワー数	年1回   月間150件  年2回  年3回  年25万件  月1回  13,000名  年400ツイート  7,000名	年4回   月164件  年0回  年3回  484,350  年24回  13,587  588  7,957	<input type="checkbox"/> 交通広告:通年で実施 8/6~8/9「みなとみらい遊音地」みなとみらい線全駅でポスター掲出。 11/9-11/15「横浜WEBステージ」JR首都圏主要16駅225面のデジタルサイネージ広告を実施。 11/16-11/22「横浜WEBステージ」横浜市営地下鉄車内デジタルサイネージ広告を実施。 11/30-12/27「横浜WEBステージ」みなとみらい地区周遊バス車内デジタルサイネージ広告を実施。 <input type="checkbox"/> 各媒体への情報広告掲載(平均164件/月) 新聞137、雑誌63、フリーペーパー121、WEB1633、その他13  <input type="checkbox"/> 公開リハーサル 神奈川フィルとMMCJ各1回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止  <input type="checkbox"/> コンサートカレンダー発行 年3回 5.7.9月に、各12,000部発行  <input type="checkbox"/> HPトップページアクセス数:475,886アクセス  <input type="checkbox"/> メールマガジン配信 4月~2021年3月まで全24回配信 <input type="checkbox"/> メールマガジン登録数:13,587人 <input type="checkbox"/> ツイッターの発信:ツイート ツイート584、リツイート4,224、いいね20,773 <input type="checkbox"/> フォロワー:7,944人 WEB会員32,347名(チケットWEB会員31,782名、友の会WEB会員565名)  【新型コロナウイルス感染症対応について】 <input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い必要となる対応について、ご利用者様およびご来場者様別にとりまとめ、当館ウェブサイトを通じて適宜ご案内しました。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症拡大に伴う利用中止、延期や中止など公演情報の変更についてまとめサイトを作成したうえで逐次情報を更新しました。	【成果】 コロナ禍により主催公演の中止や開催日の変更が相次ぎ広報計画が大きく影響を受ける年となりました。臨時休館期間中は過去主催事業のアーカイブ音源公開を積極的に配信し、大ホール再開時はテレビへのアプローチを行い、ニュースで取り上げられるなど「再び音楽を奏でる」ことへのPR活動に尽力しました。  またコロナ禍のアーティストを支援するための新規フェスティバル「横浜WEBステージ」の配信に際しては、ウェブメディアなどを中心に積極的にPRした結果、270万人を超える再生回数の達成に寄与しました。  長期休館に際しては対外的な休館のPRに加えて、長年ホールを支えたスタッフへのインタビュー記事をシリーズ化して公開するなどして、23年間のホールの歩みを振り返り、スタッフの想いや成果を発信する機会としました。  【課題】 長期休館中は、横浜みなとみらいホールの活動は継続しているというPRのため、WEBやSNSをさらに活用していくことが重要です。事業も全市的な展開となりますので、音楽専門の媒体のほか、地域への情報発信拡大にも取り組みます。	

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:☆ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価	
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
(4)条例の遵守	施設の休館日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全面に配慮し適正な休館日を確保する。</li> <li>□適正な休館日の確保</li> </ul>	21日	21日	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>□施設点検日(休館)21日</li> <li>非常事態宣言にかかる臨時休館 4月8日から5月末日</li> <li>大規模改修のための休館 令和3年1月1日から令和4年10月頃まで</li> </ul>	<p>【成果】</p> <p>4/8～5/31は臨時休館となりましたが、その間十分な感染症対策の準備を整え、再開館を迎えることができました。また、施設点検日も長期休館までを事故なく終えることができるよう所定の施設点検等を確実に実施しました。</p> <p>貸館業務については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドラインに沿って、利用者ごとに相談や打合せなど丁寧に対応し、これまで以上に利用者目線の対応ができました。</p> <p>指定管理者提案を検討するなかでリニューアルオープン時により良い運営となるよう運営面での見直しの検討を進めました。</p> <p>【課題】</p> <p>リニューアル後の貸館業務については、運用変更となる部分もあるため、利用者への丁寧な説明を行い、混乱のないよう利用を受け入れていきます。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■大規模改修開始までの施設点検日等を有効に活用し、スムーズに休館できるように施設内の備品等を整理します。</li> </ul>	実施	実施	—		
	施設の開館時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■9:00～22:00</li> <li>■早朝利用、深夜利用など可能な範囲で柔軟に対応</li> </ul>	実施	実施	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>□9:00～22:00</li> <li>■早朝利用、深夜利用など可能な範囲で柔軟に対応しました。特に22:00以降の利用も増えてきており、舞台・警備・レセプション等と連携を図りながら対応しました。</li> <li>※4月8日から5月末日までは非常事態宣言にかかる臨時休館。また前年度2月末から引き続き6月18日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、練習室を休室として対応しました。</li> </ul>	
	利用料金等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■条例に基づいた、適切な料金徴収。</li> </ul>	実施	実施	—		
施設利用の貸出業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者ニーズに配慮し、条例・規則に基づいた貸出。</li> <li>■撮影等の利用にも柔軟に対応。</li> <li>■リニューアル後の利用受付について、スケジュール等をHP等で適宜ご案内。</li> </ul>	実施	実施	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■条例・規則に基づき、利用者ニーズに配慮した貸出を行いました。</li> <li>■新型コロナウイルス拡大防止対応として、催しを実施される利用者には、横浜市のガイドラインおよびホールから協力いただきたい内容をご説明し、利用者・来場者・ホールスタッフの安全確保に努めました。利用キャンセルや利用内容の変更問合せに対して利用者のニーズに応える丁寧なご案内をしました。</li> <li>■大小ホール受付、楽屋口2箇所へのサーマルカメラの設置、各フロアへの消毒液の設置、お客様同士の間隔の確保、クロークや給水器の利用中止、スタッフのマスク着用、適宜サインの設置など公演運営に際して感染症対策として適切な対策を講じました。</li> <li>■コロナ禍に於いてソーシャルディスタンス確保のためインターネットでの配信や収録のニーズが高まりましたが、下見や打合せで十分な対応を取ると共に、文化庁助成金申請必要書類等の対応についてもニーズに応えて素早い対応をとりました。</li> <li>■実際の撮影には至らなかったものの、撮影希望問合せや撮影下見希望に柔軟に対応しました。</li> </ul>		
貸出に関する留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■条例・規則に基づいた、設置目的や利用者の安全に配慮した貸出。</li> </ul>	実施	実施	—			
4 施設維持管理	<p>適切な管理の実施</p> <p>政策目標(施設維持管理) 快適な環境を維持するとともに、安全かつ安心して利用できる施設保全</p>	□楽器定期メンテナンス/調律・パイプオルガン	年1回	年0回	チェック —	<p>【成果】</p> <p>1月のホールの大規模改修工事着工に向けて、館の引き渡しとPLOT48への事務所移転を計画的に滞りなく実施しました。事務所移転に際しては館内の全備品のデータ化、写真撮影により物量の把握を行い、廃棄・留置・移転する物品の分類を進めた結果スムーズな移転を実現できました。</p> <p>感染症の影響により建物設備の利用が減少しましたが、随時状況把握を行い設備の安定的な運転とトラブルの早期発見に努めました。</p> <p>【課題】</p> <p>横浜市との連携を密にはかり、大規模改修工事の進捗や内容を把握し、リニューアル後の施設管理業務の準備を着実に進めていきます。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響の中、無事、事務所の移転作業を実施できたことを高く評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>大規模改修工事においては、コンサートホール特有の確認事項が各種発生します。これまでホールを運営してきた知識が重要となるため、専門文化施設として、引き続き対応をお願いいたします。</p>
		・コンサートピアノ	年1回	各1回	B		
		・練習室ピアノ	年9回	各9回	B		
		・リハーサル室ピアノ	年1回	年1回	B		
		・楽屋ピアノ	年2回	各2回	B		
		■大規模改修による休館中のピアノ移転やパイプオルガンにかかる作業について、横浜市等と適切に調整を行う。	実施	実施	—		
		■設備不具合や要清掃箇所など日々の連携をはかるとともに、連絡票等での対応チェックを行う。	実施	実施	—		

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:☆ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
		■専門業者への委託による専門知識を活用し、修繕時期の決定、省エネ提案などに反映。	実施	実施	—	■令和2年度からの大規模改修について、横浜市との協議や現地調査対応、各所との調整など、計画の具体化に協力しました。 □過失事故0件		
		■ホール建物/諸設備の現状などの情報交換を密にはかり、大規模修繕計画の具体化に協力	実施	実施	—			
		□過失事故件数	0件	0件	B			
	施設維持管理業務	●QSY管理組合事務局会議、管理打合せ等に参加し、周辺との連携を図る。	実施	実施	—	■QSY管理組合会議への参加 ・毎月の管理組合事務局会議(書面、オンライン含む)／電気連絡会に参加 ■年間計画作成・実施 □客席保守点検:年1回実施 ・大ホール 8/13・14実施 ・小ホール 8/24実施 □舞台照明定期保守 6/8・22、10/12・26 □舞台音響定期保守 8/11-12 □舞台機構定期保守 7/6、11/9 ■設備・舞台スタッフと情報交換し、適切に小破修繕に対応しました。		
		●設備関係の点検・定期整備業務 ■年間計画作成・実施	実施	実施	—			
		●舞台関係の点検・定期整備業務 □客席保守点検:大小ホール共	年1回	年1回	B			
		□舞台照明定期保守	年2回	年2回	B			
		□舞台音響定期保守	年1回	年1回	B			
		□舞台機構定期保守	年2回	年2回	B			
		■点検・定期整備事項について、年間計画作成・実施	実施	実施	—			
	環境維持管理業務	●設備・舞台スタッフとの小破修繕にかかる情報交換	実施	実施	—			
		□空気環境測定	年5回	年5回	B			
		□照度測定	年1回	年1回	B			
	保安警備業務	■ごみ分別の徹底	実施	実施	—	□空気環境測定 4/9,6/14,8/7,10/11,12/7実施 □照度測定 9/8実施 ■ごみ分別は日常的に実施しています。		
		業務の基準に基づき保安警備業務を適切に行う □過失事故件数	0件	0件	B	□適切に実施しました。		
	駐車場・搬入口管理業務	業務の基準に基づき駐車場利用者等の安全確保。搬入口での搬出入は警備員立会い。 □過失事故件数	0件	0件	B	□適切に実施しました。		
	6階屋上庭園の取り扱い	□植栽の手入れ(専門業者への委託)	年4回	年4回	B	□植栽手入れ 4/6,6/8・8/24、10/26実施 ■ウッドデッキの安全確認 定期的に安全確認を実施し、不具合が発見された場合は都度応急対応をおこないました。		
		■植栽や屋上の日々の状況把握、横浜市と共有。ウッドデッキの安全確認。	実施	実施	—			
	防災等	■QSY防火防災管理協議会 会議参加	実施	実施	—	■QSY防火防災管理協議会に参加・情報共有 □防災管理自主点検 2回 □防災設備点検 0回(1月実施/引き渡し後) □消防訓練・防災訓練 9/28実施		
		□防災管理自主点検	年2回	年2回	B			
□防災設備点検		年1回	年0回	—				
□消防訓練・防災訓練		年1回	年1回	B				
緊急時の対応	■施設内での周知	実施	実施	—	□適切に実施しました。			
	■緊急時の救急要請、事故報告を速やかに行うとともに、スタッフへの周知を徹底	実施	実施	—				

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:★ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
	有資格者の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気主任技術者</li> <li>■QSY管理組合の電気主任技術者をもって配置に替える。</li> <li>●建築物環境衛生管理技術者</li> <li>●ボイラー技師</li> <li>■管理センターに技術者を設定(ボイラー含む)</li> <li>●無線従事者</li> <li>□無線従事者 2名配置</li> <li>●甲種防火管理者及び防災管理者</li> <li>□防火・防災管理者 職員1名配置</li> </ul>	実施	実施	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■電気主任技術者:1名配置</li> <li>*QSY管理組合の電気主任</li> <li>■管理センターに配置</li> <li>□無線従事者:2名配置</li> <li>□防火・防災管理者:1名配置</li> </ul>		
	条例で定める業務以外で施設を使用する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>■条例および規則に基づき、都度適正な手続きを行う</li> </ul>	実施	実施	—	□適切に実施しました。		
5 その他 政策協働型指定管理を推進し、横浜市の専門文化施設として最適な管理運営を実現します。	政策経営協議会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>■政策経営協議会の実施</li> </ul>	実施	実施	—	□年間2回開催しました。	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症や、大規模改修工事内容の相談・情報交換、事務所移転など、政策経営協議会やモニタリング時以外でも、横浜市との連携を密にはかりました。</p> <p>【課題】 引き続き、大規模改修工事やリニューアルのスケジュール、リニューアル後の運営など、横浜市との情報共有等が必要です。</p>	<p>【評価できる点】 適切に市と情報共有を行っている点を確認しました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 大規模改修において、市との情報共有や打合せ、ホール関係者との調整等について引き続きお願いします。</p>
	計画の策定及び業務報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モニタリング実施。</li> <li>□原則月1回</li> <li>■モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画につなげる。</li> </ul>	原則月1回	年6回	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>□定期的にモニタリングを実施しました。</li> <li>■モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画にも反映させました。</li> </ul>		
	業務評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>□自己評価・横浜市評価</li> <li>■指定管理者選定評価委員会による外部評価、業務視察、ヒアリング実施。</li> </ul>	実施	実施	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■指定管理者選定評価委員会による外部評価、業務視察・ヒアリングにそれぞれ適切に対応しました。</li> </ul>		
6 収支 収支計画	収入(収入向上及び外部資金導入の努力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファンドレイジング活動の推進</li> <li>□企業協賛金・助成金獲得</li> </ul>	18,000千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>★企業協賛金 1,650千円</li> <li>★助成金・補助金等 43,380千円</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>□助成金 43,380千円</li> <li>文化庁:感染症対策事業 880千円</li> <li>文化庁:3事業 16,600千円</li> <li>映像産業振興機構:1事業 4,900千円</li> <li>公文協働画配信:3事業 21,000千円</li> <li>□企業協賛金 1,650千円</li> <li>2事業に対し5企業から協賛</li> </ul>	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症のまん延による公的機関の助成等を申請・獲得し、設定席数の制限等により入場料収入を見込めない中、外部資金の獲得について、大きく目標を達成しました。</p> <p>【課題】 令和3年度も休館中ではありますが、積極的に助成金等の獲得を目指していきます。</p>	<p>【評価できる点】 新型コロナウイルス感染症関連の各種助成金を積極的に活用、獲得できたことを高く評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 企業協賛金の獲得にも力を注いでください。新型コロナウイルス感染症以降、様々な面で変動が激しい状況となっておりますが、経済状況の流れを常に注視し、企業のメリットと、ホールのアピールできる部分とをマッチングして企画提案することで、新しい企業協賛金の獲得を目指してください。</p>
	支出(適切な支出配分、コスト削減への努力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■管理センターと連携し、快適な利用環境とエネルギー消費最小化の両立に努め、光熱費を抑制</li> <li>■廃棄物の発生量削減に努め、廃棄に要するコスト削減</li> </ul>	実施	実施	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■管理センターと連携し、従来年間通して一定としていた大ホール湿度の制御を夏場、冬場について若干幅をもたせて調整することで省エネルギー化し、光熱費を抑制しました。</li> </ul>		
7 組織 組織	明確な責任体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>□グループ長会議 毎週開催</li> <li>□企画運営会議 毎週開催</li> </ul>	実施	実施	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■グループ長会議、企画運営会議をそれぞれ毎週開催し、意思決定・情報共有を行いました。</li> </ul>	<p>【成果】 新井鷗子新館長の就任に加え、事業企画部門の責任者の増員など、長期休館まで、休館中およびリニューアル後の事業展開を長期的に検討・実施する体制となりました。</p> <p>【課題】 長期休館中を好機ととらえ、専門性の向上をはかる体制や研修など人材育成を進めます。</p>	<p>【評価できる点】 新館長のもと、長期休館に向けた体制を構築し、準備をすすめたことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 長期休館を活用し、通常の運営時では難しかった外部の研修等に積極的に参加し、これまでとは異なる経験を積むことも含め、人材育成を一層進めていただくことを期待します。</p>
	専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各専門性に応じた適正な人員配置</li> <li>■事務室勤務体制はシフト制とし、主催事業やホール利用状況に応じて出勤職員・人数を決定</li> </ul>	実施	実施	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各専門性に応じた人員配置を実施し、専門性を発揮できる組織づくりに努めました。</li> <li>■4月1日から新井鷗子氏が館長に就任しました。</li> <li>■事業企画部門の責任者に音祭り事務局長が加わりプロデュース力の強化をはかりました。</li> </ul>		
人材育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>●MBOによるOJTの積極的な実施。</li> <li>■MBOの目標設定、中間・期末評価において、各自の業務の進行確認を推進し、評価のフィードバックを適切に行う</li> </ul>	実施	実施	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■OJT及びMBOによる中間・期末の面談を計画的に実施しました。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホール独自研修</li> <li>レセプション研修【再掲】</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>■レセプション研修:感染症の影響により研修は見送りました。</li> <li>■新規配属職員を対象に、ホール内の情報管理状況を踏まえた個人情報保護研修を実施しました。</li> <li>■事務局で開催した研修、神奈川県公立文化施設協議会主催の研修に、対象職員全員が参加しました。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>□新規配属職員への個人情報研修</li> </ul>	年1回	年1回	B			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●事務局研修への参加</li> <li>■事務局研修に積極的に参加できる体制構築</li> </ul>	実施	実施	—			

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:☆ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価	
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
8 留意事項 保険及び損害賠償の取扱い		■業務の基準に定められた内容で保険に加入する。(施設賠償責任者保険、動産総合保険、レジャーサービス費用保険)	実施	実施	—	■定められた内容で各種保険に加入し、迅速かつ適切に対応しました。	【成果】 保険の適用にあたり、適切に来場者と保険会社と連携を取りました。  【課題】 保険の適用に関わらず、事故の無い運営に努めます。
		■保険対応が必要な案件があった場合には速やかに対応。	実施	実施	—		
法令の遵守と個人情報保護		■公の管理者としての法令遵守 ■個人情報取扱いマニュアルの周知徹底	実施	実施	—	■個人情報取扱いマニュアルを配布し、周知徹底しました。また、新配属者に対する個人情報取扱いに関する研修を実施しました。 ■マイナンバー制度事務取扱い手順を徹底しました。	【成果】 個人情報取扱いマニュアルを配布し、周知徹底し、日常業務において意識的に個人情報の保護を考慮するように努めました。また、新配属者に対する個人情報取扱いに関する研修を実施しました。  【課題】 長期休館中は、他施設を借用して事業を実施することも想定しており、各所で個人情報を取得する可能性があるため、これまで以上に、個人情報を取得する場面の増加に伴うリスクを認識し、更なる管理に努めます。
		■マイナンバー制度事務取扱い手順の徹底と事故防止	実施	実施	—		
情報公開への積極的取組		■公の施設の管理者として説明責任を果たす観点から、横浜市、財団事務局との連携をはかり、情報公開を行う。	実施	実施	—	■一般の方からの情報公開請求はありませんでしたが、警察からの照会など適切に対応しました。	【成果】 情報公開請求実績はありませんでしたが、請求時の体制は適切に整えています。  【課題】 情報公開請求受領時に適切な対応が出来るように準備します。
市及び関係機関等との連絡調整		■横浜市(政策協議会含む)や関連機関との情報共有 ■日頃の連携をはかり、報告等速やかに実施	実施	実施	—	□適切に実施しました。	【成果】 モニタリング及びそれ以外の場や電子メール等によって日常的に必要な情報共有を行いました。  【課題】 令和3年からの大規模改修にむけて、より密に情報共有に努めます。

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:★ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
9 大規模改修に伴う休館期間中における業務 主催事業の実施	「みなとみらいSuper Big Band」	<ul style="list-style-type: none"> <li>■他施設を借用しクリニックを実施</li> <li>□回数</li> <li>□他施設を借用し公演を実施</li> <li>□目標入場者数</li> <li>□満足度</li> </ul>	6回 1公演 500人 満足度80%	練習12回 1公演 342人 96%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■PLOT48にて練習 1/9～実施</li> <li>□開内ホールで公演実施 1公演(3/12) 342人</li> <li>□顧客満足度 96%</li> </ul>	<p>【成果】 「みなとみらいSuper Big Band」は、PLOT48内で練習できる環境を整え、3月には開内ホールにて、高校3年生の卒業となるコンサートを実施することができました。横浜赤レンガ倉庫1号館では、配信のみとなりましたが、「次世代育成インクルージョン・コンサート『きこえる色、みえる音』」を実施し、ダンスと三味線のコラボレーションに合わせ、音を視覚化するアプリで音が様々な形・色となって現れる映像ならではの作品と、クラシカルDJによる、ベートーヴェン「運命」の演奏で、見ている人が様々な感じられる公演となりました。</p> <p>【課題】 長期休館中は、他施設を借用して事業を実施していくことになり、施設ごとに利用方法等も異なることや都度使用備品等の運搬なども発生するため、事前準備や事業当日の効率的な運営が求められます。また、学校アウトリーチ等、様々な展開をできるチャンスと捉え、幅広い地域や学校等で事業展開を進めていきます。</p>	<p>【評価できる点】 予定通り、令和3年1月に、仮事務所への移転が完了できた点を高く評価します。休館直前までジルヴェスターコンサートを行い、移転直後の3月にも、ホール以外の場所で自主事業を早速開始しており、厳しいスケジュールの中で、安全に移転作業を行うことができました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 他施設で事業を行っていく際、これまで自分の施設で事業を実施していただけでは得られない他施設とのつながりを作っていくことを期待します。 大ホールの利用申し込みが1年半前から始まることから、リニューアルオープンに向けて、貸館を御利用予定の方への丁寧なご案内を行ってください。</p>
	共生社会の実現に向けた事業	□障がい者施設等での事業実施	2回	3回	B	□学校アウトリーチ 3校実施 *1/6-8、3/1-2、3/23		
	音楽文化を広げる公演 その他2021年4月以降の公演の制作業務	□他施設を借用し公演実施	1公演	1公演	B	□1/26 横浜赤レンガ倉庫1号館3Fホールにて、次世代育成インクルージョン・コンサート「きこえる色、みえる音」公演実施 *ライブ配信のみ		
施設運営	利用に関する問い合わせ対応 リニューアル後の運営検討 協力団体との継続した連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設の借用業務、広報物の作成・広報活動、チケット販促、出演者・関係者との打ち合わせ、楽譜や資料の手配等</li> </ul>	実施	実施	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2021年4月以降の公演制作を実施</li> <li>*特に、5/5「こどもの日コンサート」に向け、中学生プロデューサーを募集、45名申込を受入れ、3月末より活動を開始しました。</li> </ul>		
							<ul style="list-style-type: none"> <li>■リニューアル後の利用に対するお問合せ等には、内容に応じ横浜市とも調整しながら対応します。</li> <li>■大規模改修に合わせ他施設の運営に関する調査結果を分析し、リニューアル後により良い運営となるよう検討を進めます。</li> <li>■協力団体と定期的に情報提供・情報共有等を行い、リニューアル後の継続的な協力関係構築に努めます。</li> </ul>	
施設維持管理	移転先事務所の設営・備品管理 大規模改修について横浜市および関係各所との連携・調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移転先で執務と問い合わせ対応できるよう事務所を適切に設営します。</li> <li>■大規模改修工事にかかる会議等へ出席するとともに、関係各所との連絡調整など、工事の実施に協力します。</li> <li>■移転先におけるホール内運営会議を適切に運営します。</li> </ul>	実施	実施	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移転先仮事務所での執務環境等についてモニタリングの場を通じて横浜市と共有しました。</li> <li>■みなとみらいホールでの大規模改修に掛かる月1回の定例会に参加し、必要な情報提供を行いました。</li> <li>■ホール内週1回の企画運営会議を継続し、主催公演やリニューアル後の運営方法などについて共有しました。</li> </ul>		
							<ul style="list-style-type: none"> <li>■移転先を適切に案内するための広報を実施するとともに、移転中の事業・取組について広報PRを行います。</li> <li>■リニューアル後のウェブサイトの改訂に向けて課題点をまとめ基本設計を行います。</li> <li>■移転中およびリニューアル後の友の会運営について企画案を策定し財団内に諮ります。</li> </ul>	
広報	事務所移転に伴う各種広報の実施 リニューアル後ウェブサイト設計準備 移転中・リニューアル後の友の会運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移転先を適切に案内するための広報を実施するとともに、移転中の事業・取組について広報PRを行います。</li> <li>■リニューアル後のウェブサイトの改訂に向けて課題点をまとめ基本設計を行います。</li> <li>■移転中およびリニューアル後の友の会運営について企画案を策定し財団内に諮ります。</li> </ul>	実施	実施	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移転先を適切に案内するための広報を実施するとともに、長年ホールを支えたスタッフへのインタビュー記事をシリーズ化して公開するなどして、23年間のホールの歩みを振り返り彼らの想いや成果を発信する機会としました。</li> <li>■休館中の事業・取組について「#MMhall will Keep Going 横浜みなとみらいホールは音楽を奏で続けます」を合言葉に広報PRを行っています。</li> <li>■ウェブサイト改訂を2021年度に実施するため課題点をまとめ基本設計を行いました。</li> <li>■リニューアル後の友の会運営についてウェブ会員制度に移行することを提案し合意を得ています。</li> </ul>		
							<ul style="list-style-type: none"> <li>■リニューアル後の利用受付が5月に始まることを受け、横浜市とも連携しながら、受付方法の変更を調整しました。また、協力団体の優先予約などの調整や説明など、情報提供・情報共有を進めました。</li> </ul>	
広報	事務所移転に伴う各種広報の実施 リニューアル後ウェブサイト設計準備 移転中・リニューアル後の友の会運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移転先を適切に案内するための広報を実施するとともに、移転中の事業・取組について広報PRを行います。</li> <li>■リニューアル後のウェブサイトの改訂に向けて課題点をまとめ基本設計を行います。</li> <li>■移転中およびリニューアル後の友の会運営について企画案を策定し財団内に諮ります。</li> </ul>	実施	実施	-	<p>【成果】 休館中でも横浜みなとみらいホールの活動は継続していることをPRするために、ツイッターの更新や「#MMhall will Keep Going 横浜みなとみらいホールは音楽を奏で続けます」を合言葉として様々な広報PRを行っています。</p> <p>【課題】 リニューアル後の横浜みなとみらいホールをPRするために、ウェブサイトや会員組織のリニューアルが重要と考えています。</p>		
							<ul style="list-style-type: none"> <li>■リニューアル後の運用について、変更になるであろう点を協力団体や利用者へ丁寧に説明・発信することが必要です。</li> </ul>	

令和2年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

計画項目:★ 完了項目:★ 変更項目:!

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超えの実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価	
I 項目	目標の実践	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
評価項目		R2年度計画		実施状況		評価	
		達成指標			説明	自己評価	行政評価
<p>総括</p>							
						<p>長期休館前に横浜みなとみらいホールで事業を実施できる最後の年度として、横浜みなとみらいホールの記憶を強く市民の心に残す積極的かつ特徴的な運営による達成目標を立てましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が音楽業界全体に与える多大な影響を考え、事業計画で設定した定量的な数値目標よりも、感染リスクを回避しお客様の混乱を最小限に抑えた運営の持続を最優先の目標としました。</p> <p>緊急事態宣言の発出に伴い4月8日から5月31日まで臨時休館となり、6月1日からの営業再開後もしばらくは政府および横浜市からのガイドラインによる入場定員制限が続き、多くの自主公演や事業が予定通り実施することができなくなりましたが、開催日の延期、または内容の一部変更などにより、9月から年末にかけては万全な感染防止対策のもとで主要な公演を実施することができました。</p> <p>貸館公演や練習室利用など運営面においても、政府や横浜市のガイドラインに基づき、主催者、出演者、来場者、ご利用者すべての方に感染防止の徹底にご協力いただいたことで感染事故なく運営することができました。</p> <p>収支面でも助成金の獲得にも力を入れることによって入場者数の制限に伴う事業収入減少の影響を軽減しました。</p> <p>また、長期休館中の活動として次年度以降に計画していたWEB上の音楽フェスティバルを一年早めて「横浜WEBステージ」として世界に例のない規模で開催できたことは、活動する機会を失っていた多くの音楽関係者への支援につながっただけでなく、コンサート会場では体験することのできない新たな音楽へのアプローチを広く国内外に発信し、270万件を超えるアクセスを得る大きな成果を残すことができました。</p>	
						<p>大規模改修による長期休館が控えている中で、どのように横浜みなとみらいホールを見せていくかを検討して、各種事業を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の想定通りに実施することはできませんでした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の対応を行いつつ、公演に来場されるお客様、ホールの貸館利用のお客様、練習室等を利用されるお客様に丁寧に対応し、大きな混乱なく館を運営し、また、そのような非常事態の中で、無事、仮事務所への移転及び長期休館を迎えられたことを評価します。</p> <p>外部資金の獲得では、様々な助成金にアンテナを張って積極的に申請を行い、成果が得られています。新型コロナウイルス感染症関連の助成金が終了した後も、専門文化施設として事業面の助成金獲得について、より効果的に獲得できるよう、引き続き、力を入れてください。</p> <p>令和4年度にはリニューアルオープンを迎え、いつも以上に注目を集める機会が増えます。横浜みなとみらいホールの転換点として、これまでホールが積み上げてきた実績と、新しく取り組むことを効果的に発信し、多くの人に横浜みなとみらいホールの存在感を伝えられる取組を実施していただくことを期待しています。</p> <p>市民の皆様、アーティストの皆様にも末永く愛されるホールであるために、今後もきめ細やかな運営を続けていただくことを望みます。</p>	